

看護学部臨地教授称号授与式・意見交換会を行いました。

2013年7月3日（水）午前、札幌市立大学桑園キャンパスで看護学部臨地教授の称号授与式を行いました。臨地教授は、実習先機関の実習指導を担当する方の中から一定の経験を有する方をお願いし、学内と実習先の連携を強め、より充実した臨地教育を目指すものです。本学では、平成22年度に受けた文部科学省補助事業の一環で検討を始め、24年度に制度化しました。

称号を授与された荒木 美弥子 様（市立札幌病院看護部長）と樋口 春美 様（手稲溪仁会病院副院長兼看護部長）のお二人には、蓮見 孝 理事長から「お二人の専門職としての優れた知見と実習指導者としての経験から、本学初の臨地教授としてのご意見をいただき、臨地教育の更なる充実と発展に向けてお力添えをお願いいたします。」と挨拶がありました。

引き続き行われた意見交換会には本学教員11名も参加して、大学と臨床のつながりの強化や学生の可能性を伸ばすために臨床でどう育てていくかの検討など様々な意見が出され、今後も定期的に話し合いの場を持つこととしました。

